



日本外交の新しい基軸

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

日米同盟を破棄し、極東アジアにおける ASEAN スタイルの協力関係を構築し新しい日本の外交基軸とする。

これらは未来への現実変化への対応であり、これら同盟関係は世界への新しいプレゼンスとビジョンを提示し、世界のパワーバランスの変化を求め、明確に新しい世界への責任を行う。

これらは等しく西洋におけるトッププレゼンスに対して新しい世界の枠組みを提案するものである。

早期において、これらは現実に対して明確に世界との対話を求め、世界の統一という新しいビジョンを提案するものである。

その現実の推移に対して、軍の展開は決して否定するものではない。

これは明らかに中国への明確な利益が与えられるものであるが、等しく日本において現実に対して、異なる未来という選択を与えるものである。

留意すべきは、これら同盟関係は相互補助し、自国の有する現実がそれら協力において、遥かに利益を求めることができるのである。

これら日本外交のアジアへのシフトは、西洋陣営との対峙を必ず余儀なくされるものであり、対等な自己プレゼンスの要求は、外交施策において模索すべきであると考ええる。

これら協力関係は、南米、ヨーロッパ、オセアニア、アジア、アフリカとの対話を要求し、公正な世界の構築を提案するものである。

これらは、東洋が西洋に従属することを否定し、平等で公正な世界の創造と健全な未来の構築を世界へ約束するものである。